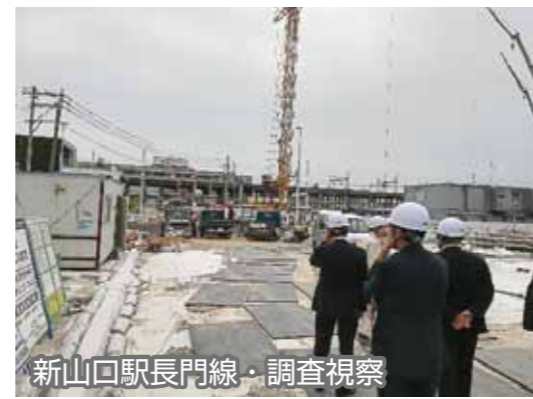




岩国大竹道路・調査視察



長門・俵山道路開通式



新山口駅長門線・調査視察



富山新港・委員会調査視察



定例議会・一般質問



手取川第一発電所・調査視察



富山市との協議



建築 ICT ビジネスメッセ



宇部さかなまつりにて

☆☆何でも なおの! すぐやる なおの!☆☆

*地域の身近な問題、くらし、介護のご相談など、
お気軽にご連絡ください。

山口県議会議員 なおの克事務所

〒755-0073 山口県宇部市中尾 1 丁目 7 番 8 号

Tel・Fax 0836-37-6023

オフィシャルサイト: <https://naono-suguru.com/>



すぐやる HP



建設 ICT ビジネスメッセにて (山口南総合センター)

山口県議会議員
猶野 克

新年明けましておめでとう申し上げます。皆様には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。県議会議員一期目のスタートを切らせて頂きました。旧年中は、度重なる真心のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

議会役職も、土木建築委員となりました。過去最大規模といわれる昨年の台風十九号は、河川の決壊、越水等、全国的に甚大な被害をもたらしましたが、こうした河川改修、港湾、ダムを整備を始めた防犯、減災の取り組みに大きく関わる委員会であり、また山口県を何とか元気にしてほしいといった大命題を頂戴し、「まちの賑わい」を取り戻す都市計画に関わるのも本委員会の所管事項であります。大変、身の引き締まる思いとともに、どこまでも一人を大切に、皆様の暮らし、安全、生命、財産を守るため誠心誠意尽力して参りますので、様々なご意見、ご要望をお寄せ頂ければ幸いです。

新春に先立ち、愛する故郷・生まれ育てて頂いた宇部市のために、若輩ですが、しっかりと働いて参りたいと決意を新たにしております。皆様から安心して、喜び、笑顔で過ごして頂けるよう励んで参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

本年もどうぞよろしく申し上げます。

定例議会

一般質問
ダイジェスト



猶野 克 (なおの すぐる)

Suguru Naono
山口県議会議員
【プロフィール】
1980年 恩田幼稚園 卒園
1986年 宇部市立西岐波小学校 卒業
1989年 宇部市立西岐波中学校 卒業
1992年 宇部フロンティア大学付属香川
高校 卒業
1997年 創価大学法学部法律学科卒業
1997年 ITコンサルタント勤務
(~2011年)※1年間、語学留学
2011年 国分寺市議会議員(初当選)
厚生委員会、建設環境副委員長を歴任
2015年 国分寺市議会議員(2期目)
総務委員長、議会運営委員長を歴任
2019年 山口県議会議員(初当選)
土木建築委員会所属

魅力 発信

Q1.国内外の誘客推進と山口の魅力発信について

A)今年度からは新たに、相手国を紹介する物産展の開催をはじめ、カウントダウンボードの設置やパブリックビューイングなど、多様な交流の促進や大会の機運を高める取組についても支援することとしており、こうした取組を通じて経済効果の拡大にもつなげていく。また、誘客に向けた魅力発信については、両大会の開催を視野に入れ、情報を幅広く発信できるSNSを一層効果的に活用していくこととしている。具体的には、本県の魅力あふれる写真を観光客からInstagramに投稿していただく取組を、年間を通じて実施するとともに、海外ブローガーの招聘により、外国人に訴求力の高い観光情報を積極的に発信していく。加えて、こうしたSNSによる情報発信を円滑に行うことができるよう、公衆無線LANの一層の充実を図っていく。県としては、市町や関係団体等と緊密に連携し、両大会を活用した県内経済の活性化や本県の魅力発信に積極的に取り組んでいきたい。

公共 経営

Q2.クラウドファンディングを活用したふるさと納税の推進について

A)クラウドファンディングを活用したふるさと納税は、寄附金の使途を事業として具体的に明示し、目標金額も設定することから、寄附者は自身の思いを直接形にすることができ、寄附への動機付けが高まるなど、より訴求力のある手法と受け止めている。活用に向けては、広く仕組みの周知を図ることも含め、しっかりとした準備を行う必要があると考える。現在の「つながる。やまぐち応援寄附金」については、今後も、取組の実績等を踏まえ、寄附の使い道などを定期的に見直すこととしており、その中で、クラウドファンディング型のふるさと納税のあり方についても検討していく。

教育 連携

Q3.高校と大学との連携推進について

A)今後は、来年4月に全ての県立高校にコミュニティ・スクールを導入することを踏まえ、大学教授等の学校運営協議会への参画を進め、地域などの課題を解決する課題解決型の学習をカリキュラムに位置付けることで、学習活動の更なる充実を図るとともに、地域貢献につながる取組も一層進めていく。コミュニティ・スクールの取組も活用しながら、高校と大学の連携を推進することで、学習活動を始めとする教育活動の充実はもとより、「地域に愛され、地域とともにある学校づくり」を進めていく。

地方 創生

Q4.若者の雇用創出による地方創生について

A)本県ゆかりの若手企業経営者と知事との意見交換会や、県内企業と首都圏企業との交流会を開催するなど、人的ネットワークを最大限活用した取組も行っている。誘致の受け皿については、市街地におけるオフィスビル等の空室状況や、中山間地域における古民家や空き校舎など、オフィスに転用可能な施設の情報を地元市町と共有し、企業の多様なニーズに対応できる体制を整備している。県としては、今後とも、情報発信、ネットワーク、受入体制の充実強化を図ることにより、IT関連企業やサテライトオフィス誘致の更なる推進に積極的に取り組んでいきたい。

防災力 強化

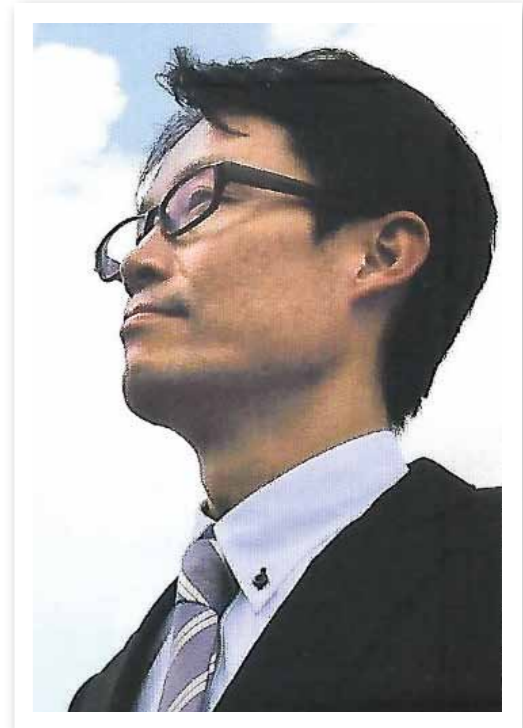
Q5.公共施設の更なる防災力強化について

A)災害時に防災拠点や避難所となる公共施設について、各施設が有する防災上の機能を充実することは、災害への対応力の強化につながるものであり、情報通信機能の確保も、重要な取組と考える。特に、近年においては、スマートフォンやタブレット端末が急速に普及し、住民は、屋外であっても、行政が発信する防災情報に加え、交通機関の運行状況といった必要な情報の入手や、SNSによる家族との連絡などを容易に行うことができる。Wi-Fi環境については、固定電話や携帯電話の回線が輻輳等のために利用できない場合でも、住民が情報を受発信することを可能とし、災害時の情報伝達手段を確保する上で、有効であると考えている。情報通信機能の確保をはじめ、公共施設の更なる防災力の強化に努め、災害に強い県づくりを一層推進していく。

健康 福祉

Q6.糖尿病の重症化予防について

A)県では、国保連合会と連携して、抽出ツールとそのマニュアルを改良し、操作方法の研修を実施していく。また、医師等で構成する糖尿病対策推進委員会から保健指導に関する助言を受け、県と国保連合会が開催する保健師等の研修会のカリキュラムに取り入れることにより、市町の保健担当者のスキルアップを図る。さらに、市町の体制面の課題に対応するため、国や県の交付金を活用して、受診勧奨や保健指導を医療機関等へ委託することも可能としている。こうした県版プログラムに基づく取組に併せて、糖尿病などの早期発見に欠かせない特定健診の受診について、市町と連携しながら、様々な手法により、幅広い世代に周知を図っていく。県としては、引き続き、県医師会や国保連合会等、関係団体の協力も得ながら、市町における糖尿病重症化予防の取組が推進されるよう環境整備に努めていきたい。



その他の一般質問項目

- 交通環境の整備について
 - (1)県外からの誘客に向けた交通環境の整備について
 - (2)県内の交通ネットワーク機能強化の推進について
- 自転車を活用した一体的な施策の推進について
- 所有者不明土地及び空き家対策について
- 防災対策について
 - (1)プッシュ型支援について
 - (2)外国人への災害時情報提供体制の充実について
- 高齢者に対するうそ電話詐欺防止対策について
- 不妊治療への支援について
- 地域で活躍する若者への支援について



5月・初登庁



5月・全員協議会



6月・初の一般質問



9月・議場の自席において



10月・決算特別委員会・山口警察署



11月・定例議会・一般質問